

## 令和6年度第6回SPODネットワークコア運営協議会 議事要旨

日 時：令和6年12月27日（金）9：30～10：40

場 所：徳島大学常三島キャンパス／Zoom

出席者：別紙のとおり

議 題：

### 1. SPODネットワークコア運営協議会の構成員等について 【資料1-1～2】

中井議長から資料1-1～2に基づき、新規構成員を反映した構成員名簿について説明があった。

### 2. SPODへの加盟申請について 【資料2-1～2】

中井議長から資料2-1～2に基づき、人間環境大学総合環境学部（令和7年4月開設予定）からSPODへの加盟申請があったことについて説明があり、了承された。また、今年度末の総会での審議を経て加盟となる旨、併せて説明があった。

### 3. 事業予算の年度繰り越しについて 【資料3-1～2】

事務局から資料3-1～2に基づき、事業予算の年度繰り越しを行えるよう、契約書の内容を変更することについて説明があり、了承された。また、今後加盟校に意見照会を行った上で、年度末の総会に諮ることについて併せて説明があった。

### 4. SPOD事業評価委員会及び会計監査について 【資料4-1～2】

事務局から資料4-1～2に基づき、SPOD事業評価委員会及び会計監査の実施日が決まったことについて説明があった。

### 5. 令和5年度SPOD事業評価委員会委員の評価への対応及び令和6年度事業評価シートについて

【資料5-1～2】

事務局から資料5-1に基づき、令和5年度SPOD事業評価委員会委員の評価への対応状況について説明があった。今後事務局、部会等で最終確認の上、3月の事業評価委員会で報告することとなった。また、資料5-2に基づき、令和6年度の事業評価を3月に委員に依頼することについて併せて説明があった。

### 6. 令和6年度SPOD活動報告書について 【資料6-1～2】

事務局から資料6-1～2に基づき、令和6年度SPOD活動報告書の構成及び各加盟校のFD・SDの活動取組報告作成について説明があり、了承された。FD・SD取組報告については、1月に各加盟校に依頼する。

### 7. 令和7年度事業計画について 【資料7】

事務局から資料7に基づき、令和7年度事業計画案について説明があった。また、今後SD研修の日程、開催場所などを確定させた上で、年度末の総会に諮ることについて併せて説明があった。

### 8. 令和7年度事業予算について 【資料8】

事務局から資料8に基づき、令和7年度事業予算案について説明があった。SPODフォーラム2025の開催費用を計算した上で、次回の協議会で再度検討を行う。

### 9. SPODフォーラム2025について 【資料9】

徳島大学から資料9に基づき、SPODフォーラム2025のプログラム案について説明があった。今後はプログラム案に基づき、講師に日程と荒天・災害時等のオンライン対応の可否の確認を行うこととなった。

また、学生理解・学生支援集中習得ゾーンの総合プロデューサーについては、高知大学の杉田先生から徳島大学の吉田先生に変更となり、高知大学から高畑先生が新たに検討メンバーとして参加することになった旨、併せて説明があった。

10. 令和7年度SPOD内講師派遣事業について 【資料10-1～2】

事務局から資料10-1～2に基づき、令和7年度SPOD内講師派遣プログラムの一覧、概要について説明があり、了承された。また、1月に加盟校に希望調査を実施することについて併せて説明があった。

11. SPOD研修プログラムガイド2025について 【資料11-1～3、参考資料1】

事務局から資料11-1～3、参考資料1に基づき、来年度のプログラムガイド作成について説明があり、了承された。1月に各加盟校にSPOD公開プログラムについて確認を行い、各コア校で取りまとめの上、プログラムガイドの原稿を作成する。

12. イベント等参加者数について 【資料12】

事務局から資料12に基づき、SPODオンラインセミナーシリーズの参加者数及び上野千鶴子氏の講演動画の視聴回数について報告があった。また、徳島大学から12月26日（木）に開催した大学教育カンファレンスin徳島の参加者数（概算）について報告があった。

## 令和6年度 第6回SPODネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員	方法
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	FD	◎		対面
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	FD	○		対面
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	FD	○		対面
	法人運営部 課長	林 三知夫	SD		○	オンライン
	法人運営部人事課 副課長	大森 理佐	SD		○	オンライン
	学務部教育支援課 課長, (兼)教育企画室長	岩森 清澄	事務			対面
	学務部教育支援課 副課長	白田 智子	事務			対面
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部 教授	佐藤 慶太	FD	○		オンライン
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	FD	○		対面
	教育・学生支援部修学支援課 係長	宮崎 真美	FD			オンライン
	教育・学生支援部修学支援課 課員	野崎 真湖	FD			オンライン
	企画総務部次長(併:企画総務部給与福利課長)	入屋 充	SD		○	対面
	企画総務部給与福利課 課員	奥野 鈴花	SD		○	対面
	企画総務部給与福利課 課員	池尾 万佑子	SD		○	対面
	教育・学生支援部教育企画課 係長	島 明日香	事務			オンライン
	教育・学生支援部教育企画課 課員	山田 夏未	事務			オンライン
高知大学	学び創造センター 准教授	高畑 貴志	FD	○		対面
	学び創造センター(兼務) 准教授	俣野 秀典	FD	○		オンライン
	学び創造センター 特任講師	寺田 悠希	FD	○		対面
	総務部 人事課長	三橋 敏朗	SD		○	オンライン
	総務部人事課労務管理係 係長	岡田 美波	SD		○	オンライン
	総務部人事課労務管理係 主任	橋田 由貴	SD			オンライン
	学務部学務課 課長補佐	吉岡 瞳	事務			オンライン
	学務部学務課総務係 係員	桂 真由	事務			オンライン
	高知大学学務課総務係 事務補佐員	廣末 和香子	事務			オンライン
愛媛大学	教育・学生支援機構 教授	中井 俊樹	議長・FD	○		対面
	教育・学生支援機構 准教授	清水 栄子	SD		○	対面
	教育・学生支援機構 講師	村田 晋也	FD	○		オンライン
	教育・学生支援機構 講師	上月翔太	FD	○		対面
	教育・学生支援機構 特任助教	真鍋 亮	FD	○		対面
	総務部人事課 副課長	吉良 典真	SD			オンライン
	総務部人事課人事・人材育成チーム チームリーダー	清家 郷詩	SD			オンライン
	教育学生支援部教育企画課 副課長	林 知寿	SD・事務		○	オンライン
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	河内 貴博	FD・事務	○		対面
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	向井 晴香	事務			対面
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	二宮 和真	事務			対面

※◎は専門部会長

令和6年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿

令和6年11月1日時点

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	FD	◎	
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	FD	○	
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	FD	○	
	法人運営部 課長	林 三知夫	SD		○
	法人運営部 人事課長	大川 直昭	SD		○
	法人運営部人事課 副課長	大森 理佐	SD		○
	学務部教育支援課 課長, (兼)教育企画室長	岩森 清澄	事務		
	学務部教育支援課 副課長	白田 智子	事務		
学務部教育支援課 教育企画係長	瀬尾 亜希子	事務			
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	松本 洋明	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 教授	佐藤 慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	藤澤 修平	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 係長	宮崎 真美	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 課員	野崎 真湖	FD		
	教育・学生支援部修学支援課 課員	木村 珠雪	FD		
	企画総務部 次長(併:企画総務部給与福利課長)	入屋 充	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	奥野 鈴花	SD		○
	企画総務部給与福利課 課員	池尾 万佑子	SD		○
	教育・学生支援部教育企画課 係長	島 明日香	事務		
	教育・学生支援部教育企画課 課員	山田 夏未	事務		
高知大学	学び創造センター 准教授	杉田 郁代	FD	○	
	学び創造センター 准教授	高畑 貴志	FD	○	
	学び創造センター(兼務) 准教授	俣野 秀典	FD	○	
	学び創造センター 特任講師	寺田 悠希	FD	○	
	総務部 人事課長	三橋 敏朗	SD		○
	総務部人事課労務管理係 係長	岡田 美波	SD		○
	総務部人事課労務管理係 主任	橋田 由貴	SD		
	学務部学務課 課長補佐	吉岡 瞳	事務		
	学務部学務課総務係 係員	桂 真由	事務		
	高知大学学務課総務係 事務補佐員	廣末 和香子	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構 教授	中井 俊樹	議長・FD	○	
	教育・学生支援機構 准教授	清水 栄子	SD		○
	教育・学生支援機構 准教授	仲道 雅輝	FD	○	
	教育・学生支援機構 講師	村田 晋也	FD	○	
	教育・学生支援機構 講師	上月翔太	FD	○	
	教育・学生支援機構 特任助教	真鍋 亮	FD	○	
	総務部 次長, (事務取扱)人事課長	久保 秀二	SD		◎
	総務部人事課 副課長	吉良 典真	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム チームリーダー	清家 郷詩	SD		
	教育学生支援部長	桐野 律子	事務		
	教育学生支援部 教育企画課長	桐野 律子(兼務)	事務		
	教育学生支援部教育企画課 副課長	林 知寿	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	河内 貴博	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	向井 晴香	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	二宮 和真	事務		

※◎は専門部会長

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)  
(組織)第2 協議会は、次の(1)~(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

**ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿  
(令和6年11月1日現在)**

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	高等教育研究センター教育改革推進部門 准教授	吉田 博	第3条第1号委員
	高等教育研究センター教育改革推進部門 助教	飯尾 健	第3条第1号委員
	高等教育研究センター教育の質保証支援室 助教	塩川 奈々美	第3条第1号委員
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長 教授	松本 洋明	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 教授	佐藤 慶太	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	蝶 慎一	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	西本 佳代	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 特命講師	小坂 有資	第3条第1号委員
高知大学	学び創造センター 准教授	杉田 郁代	第3条第1号委員
	学び創造センター 准教授	高畑 貴志	第3条第1号委員
	学び創造センター(兼務) 准教授	俣野 秀典	第3条第1号委員
	学び創造センター 特任講師	寺田 悠希	第3条第1号委員
愛媛大学	教育・学生支援機構 教授	中井 俊樹	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構 准教授	仲道 雅輝	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構 講師	村田 晋也	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構 講師	上月 翔太	第3条第1号委員
	教育・学生支援機構 特任助教	真鍋 亮	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム チームリーダー	河内 貴博	第3条第2号委員

※オブザーバー除く

## SPOD 事業経費の繰越について(案)

## 現状・課題

SPOD 事業の事業契約期間は4月から翌年3月までの1年度で、事業経費についても年度で管理し、残額が生じた場合は、各加盟校に返還することとなっている(共同事業契約書第9条第2項)。

事業経費については、SPOD フォーラムが終了し収入予算がおおよそ確定する秋頃に収支見込みを確認の上、ネットワークコア運営協議会において予算執行計画を見直し、全額執行してきた。見直し分の執行内容としては、SPOD 職員能力開発経費(RI)や必要物品の購入であり、限られた予算の範囲内で執行しているが、監事監査において、監事からは、効率的な予算管理と有効的な予算執行のため、予算の繰越について検討してみてもどうかとの意見が出てきているところである(令和3、4年度監事監査)。

## 対応案

研修料の収入増や予定事業の効果的な執行等によって執行残が発生する場合は、当該執行残をより有効的に使用できるよう翌事業年度に繰越ができるようにする。

予算繰越は、ネットワークコア運営協議会で審議した上で、総会に諮ることとする。【共同事業契約書第9条第3項を追加(別添 共同事業契約書(改定案))】

## 繰越に関する考え方

事業予算の作成に当たっては、前年度の繰越額を含めて予算計画を作成し、使用計画のない繰越額が累積しないよう留意する。

## (今後の予定)共同事業契約書の改定

(ネットワークコア運営協議会までに)	コア校に事前確認
令和6年12月27日(金)	ネットワークコア運営協議会にて審議
(総会までに)	加盟校に事前確認
令和7年3月(書面)	総会にて審議
令和7年4月1日	改定後の共同事業契約書を締結 (令和7年度予算から繰越可能)

令和6年12月16日

## 共同事業契約書 (改定案)

国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学）、国立大学法人香川大学（香川大学）、国立大学法人高知大学（高知大学）、国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学）、香川県（香川県立保健医療大学）、公立大学法人愛媛県立医療技術大学（愛媛県立医療技術大学）、高知県公立大学法人（高知県立大学及び高知工科大学）、学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部）、学校法人村崎学園（徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部）、学校法人四国高松学園（高松大学及び高松短期大学）、学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部）、学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学）、学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学）、学校法人徳島城南学園（徳島工業短期大学）、学校法人尽誠学園（香川短期大学）、学校法人今治明德学園（今治明德短期大学）、学校法人高知学園（高知学園大学、高知学園短期大学及び高知リハビリテーション専門職大学）、学校法人穴吹学園（せとうち観光専門職短期大学）、学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）、学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部及び総合心理学部）、学校法人土佐リハ学院（高知健康科学大学）、独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は、次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。

（事業名称）

第1条 甲及び乙は、共同して「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業（以下「本共同事業」という。）を行う。

（事業目的）

第2条 本共同事業は、四国地区の大学（四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。）及び高等専門学校（以下「大学等」という。）の連携・協働により、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「SPOD」という。）におけるFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的とする。

（事業内容）

第3条 本共同事業の内容は、次のとおりとする。

- (1) FD/SDプログラム等の調査研究及び開発
- (2) FD/SDプログラム等の共同実施及び共同利用
- (3) FDe r（ファカルティ・ディベロッパー）及びSDC（スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター）の養成
- (4) 参加大学等間における職員派遣等による交流
- (5) その他SPODの目的を達成するために必要な活動

（役割分担）

第4条 本共同事業の役割分担は、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約」（以下「ネットワーク規約」という。）第9条に定めるSPOD総会（以下「総会」という。）の議を経て、別に定める。

（実施体制）

第5条 本共同事業の実施体制は、ネットワーク規約によるものとする。

令和6年12月16日

(事業契約期間)

第6条 本共同事業契約は、契約の日から1年間有効とする。ただし、事業契約期間満了日の3ヶ月前までに甲または乙から解約の申入れがない限り、本契約は自動的に更新され、以後も同様とする。

(事業経費及びその負担額)

第7条 本共同事業に要する費用（以下「事業経費」という。）並びに当該事業経費に係る甲及び乙の負担額は、総会の議を経て、別に定める。

(負担額の納付)

第8条 甲及び乙は、前条の規定に基づき別に定める負担額を、甲の発する振込依頼書により、当該振込依頼書に定める納付期限までに納付しなければならない。

(収支報告書及び事業経費の返還等)

第9条 甲は、事業契約期間（第6条ただし書の規定により、事業契約が更新された場合にあっては、更新後の事業契約期間。以下同じ。）の末日までに、事業経費の収支報告書を作成しなければならない。

2 甲は、前項の収支報告書において事業経費に残額が生じた場合は、事業契約期間の末日までに、~~第7~~条の規定に基づき別に定める甲及び乙の負担額の事業経費に占める割合に応じて、甲及び乙に返還しなければならない。

3 甲は、前項の規定にかかわらず、当該事業経費の残額を総会の議を経て翌事業契約期間に繰り越すことができるものとする。ただし、事業契約期間が更新され、又は第3条に定める事業内容に変更がない範囲で新たに契約が結ばれ事業が継続する場合に限る。

(研修料)

第10条 甲は、本共同事業で提供するプログラムを甲及び乙の教職員以外の者が受講しようとする場合は、総会の議を経て別に定める研修料を徴収しなければならない。

2 前項の規定により徴収した研修料は、事業経費に充てるものとする。

(経理)

第11条 事業経費の経理は、甲が、甲の規程に基づき行う。

2 乙は本契約に関する経理書類の閲覧を甲に申し出ることができるものとし、甲は乙からの閲覧の申し出があった場合は、これに応じなければならない。

3 甲は、本共同事業に要した費用について他の経理と明確に区分し、その収支に関する帳簿を備え、その支出内容を証する書類を整備し、これらの帳簿及び書類を事業契約終了年度の翌年度から5年間保存しなければならない。

(事業経費の変更)

第12条 甲は、事業経費について、~~第4~~3条に定める事業内容に影響を及ぼさない範囲において、ネットワーク規約第10条に定めるネットワークコア運営協議会で協議の上、総額の変更及び費目間の流用を行うことができるものとする。

(共同事業の中止)

第13条 事業遂行上やむを得ない事由がある場合は、甲乙協議の上、本共同事業を中止することができる。

(共同事業の中止に伴う事業経費の取扱い)

第14条 前条の規定により、本共同事業を中止した場合において、事業経費に残額が生じた場合は、甲は、甲及び乙に第7条の規定に基づき別に定める負担額の事業経費に占める割合に応じて返還しなければならない。

(発明等)

第15条 甲及び乙は、本共同事業の実施に伴い発明等が生じた場合は、速やかに相互に通報し、本発明等に関する特許出願、実施許諾、実施料等について協議して定めるものとする。

コメントの追加 [教養1]: 加盟校の増減があった際には、再度契約を結ぶため、それを想定した記載。

令和6年12月16日

(実績報告書)

第16条 甲及び乙は、事業契約期間終了後速やかに、協力して実績報告書を取りまとめるものとする。

(裁判管轄)

第17条 本契約に関する訴えは、甲の所在地を管轄区域とする松山地方裁判所の管轄に属するものとする。

(協議)

第18条 本契約に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、甲乙協議の上、定めるものとする。

この契約の締結を証するため、本契約書27通を作成し、甲及び乙それぞれ捺印のうえ各1通を保有する。

令和~~6~~7年4月1日

甲 愛媛県松山市道後樋又10番13号  
国立大学法人愛媛大学  
学長 仁科弘重

乙 徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地  
国立大学法人徳島大学  
学長 河村保彦

香川県高松市幸町1番1号  
国立大学法人香川大学  
学長 上田夏生

高知県高知市曙町2丁目5番1号  
国立大学法人高知大学  
学長 受田浩之

令和6年12月16日

徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
国立大学法人鳴門教育大学  
学長 佐古秀一

香川県高松市牟礼町原281番地1  
香川県  
香川県立保健医療大学  
学長 平川栄一郎

愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地  
公立大学法人愛媛県立医療技術大学  
理事長 安川正貴

高知県高知市永国寺町2番22号  
高知県公立大学法人  
理事長 伊藤博明

徳島県徳島市応神町古川字戎子野123番地1  
学校法人四国大学  
理事長 佐藤一郎

徳島県徳島市山城町西浜傍示180  
学校法人村崎学園 徳島文理大学  
理事長 村崎文彦

香川県高松市春日町960番地  
学校法人四国高松学園  
理事長 佃昌道

令和6年12月16日

愛媛県松山市北条660番地  
学校法人聖カタリナ学園  
理事長 中 田 婦美子

愛媛県松山市文京町4番地2  
学校法人松山大学  
理事長 新 井 英 夫

愛媛県松山市桑原3丁目2番1号  
学校法人松山東雲学園  
理事長 丸 木 公 介

徳島県板野郡板野町犬伏蓮花谷100番地  
学校法人徳島城南学園 徳島工業短期大学  
理事長 和 田 博 文

香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地  
学校法人尽誠学園 香川短期大学  
理事長 大久保 直 明

愛媛県今治市矢田甲688番地  
学校法人今治明德学園  
理事長 村 上 康

高知県高知市北端町100  
学校法人高知学園  
理事長 高 瀬 久 志

香川県高松市錦町一丁目22番23号  
学校法人穴吹学園  
理事長 穴 吹 忠 嗣

令和6年12月16日

愛媛県今治市いこいの丘1番3  
学校法人加計学園 岡山理科大学獣医学部  
理事長 加 計 孝太郎

愛媛県松山市一番町一丁目1番地1  
学校法人河原学園  
理事長 河 原 成 紀

高知県高知市大津乙2500番地2  
学校法人土佐リハ学院 高知健康科学大学  
理事長 大 崎 博 澄

徳島県阿南市見能林町青木265  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
阿南工業高等専門学校  
校 長 箕 島 弘 二

香川県高松市勅使町355  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
香川高等専門学校  
校 長 荒 木 信 夫

愛媛県新居浜市八雲町7番1号  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
新居浜工業高等専門学校  
校 長 鈴 木 康 司

愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
弓削商船高等専門学校  
校 長 内 田 誠

令和6年12月16日

高知県南国市物部乙200番1  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
高知工業高等専門学校  
校長 江口 忠臣

令和6年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」  
事業評価委員会実施要項

(趣旨)

令和6年度における「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(ネットワーク略称=SPOD)」の活動内容や前年度の評価委員からの指摘事項に対する改善状況について、実績報告書をもとにSPOD事業評価委員会委員から評価を行っていただき、今後の事業推進に役立てる。

(主催)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(日程)

令和7年3月5日(水) 10:00~12:00

(場所)

オンライン (Zoom)

(参加予定者)

SPOD事業評価委員会委員

杉森 公一 委員(北陸大学)

高野 修 委員(広島経済大学)

山田 正和 委員(大学コンソーシアム京都)

SPOD関係者

ネットワークコア校のSPOD-FD/SD担当者

(事務担当)

SPOD事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

【参考】平成29年度第3回コア運営協議会(H29.7.5開催)資料I「平成28年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について」より抜粋

4. SPOD事業評価の在り方

SPOD事業評価委員会については、これまで実績報告書に基づく評価のみ行っていたが、各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、SPOD事業視察の場を提供する。これを踏まえ、委員会開催を委員任期の最終年度に開催することとし、委員在任中にSPODフォーラム等のSPOD事業を視察していただいた上で、総合的な意見・評価を委員会でいただくこととする。

令和6年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

会計監査実施要項

日時:令和7年3月10日(月) 10:00~11:00

方法:オンライン(Zoom)

出席予定者:監事 加野 芳正(香川短期大学長)

監事 鈴木 康司(新居浜工業高等専門学校長)

対応者:中井俊樹企画・実施統括者(愛媛大学)、SPOD事務局

実施内容

- ①令和6年度事業実施状況報告書
- ②令和6年度事業予算執行状況報告書
- ③質疑応答

※会計監査結果については、令和7年3月中旬~下旬開催のSPOD総会において報告予定

(様式)

## 事業評価シート

委員御氏名：\_\_\_\_\_

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の今後の事業推進に役立てるため、令和6年度SPOD実績報告書をもとに御意見を申し上げます（A4用紙1～2枚程度）。

お送りいただいた評価シートをもとに、四国地区大学教職員能力開発ネットワークコア運営協議会において、今後の事業推進に役立てるための議論を行います。

-----  
【御意見】

## 令和6年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

## 活動報告書構成案

## 【本編】

1. 会長挨拶
2. SPOD事業の概要
3. 令和6年度事業計画
4. 令和6年度全体総括
5. 令和6年度活動実績
  - (1) 共通事業（SPODフォーラム、SPODオンラインセミナーシリーズ、大学教育カンファレンス in 徳島、その他共通事業）
  - (2) FD事業
  - (3) SD事業
  - (4) SPOD運営
6. 令和6年度各加盟校の取組報告
7. 令和5年度事業評価委員会からの事業評価について
8. 令和7年度事業について

## 【資料編】

各種アンケート結果、研修詳細、会議等議事要旨 他

- (1) 共通事項（SPODオンラインセミナーシリーズ、大学教育カンファレンス in 徳島、講師派遣プログラム）
- (2) FD事業
- (3) SD事業
- (4) SPOD運営（総会、ネットワークコア運営協議会 等）
- (5) 参考資料（ネットワーク規約、役員名簿等）

## 【発行に関して】

- ・印刷は行わず、PDFデータのみ作成
- ・令和7年3月、SPODホームページで公開予定

## 令和6年度 FD／SD活動の取組報告

学校名： **学校名を記載してください。**

**【令和6年度の教育改革に関わる動向】**

令和6年度の貴学におけるFD／SD活動について総括コメントを記載してください。

**【FD／SDの取組事例ハイライト】**

令和6年度に実施したFD／SDの取組事例について記載してください。

事例については、SPOD事業に関するものでも、貴学独自の取組でも構いません。

事例数に特に制限はありません。

**【成果及び波及効果】**

FD／SDの取組成果及び成果に関する情報の公表（手段・媒体）について記載してください。

**【FD／SDに関わる次年度の課題】**

令和6年度の取組内容を振り返り、次年度の課題や目標を記載してください。

※報告書はA4用紙1枚以内（目安：1,000～1,200字程度）で作成してください。

なお、補足資料がある場合は、別途添付してください。

※可能な限り、写真や図表の添付をお願いします。

※上記4項目について記載していただければ、内容や書き方は自由です。

---

※本報告書は令和6年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」活動報告書に掲載する予定です。

※令和7年2月10日（月）までに、SPOD事務局（spod@stu.ehime-u.ac.jp）までご提出ください。

---

## 「研修プログラムガイド2025」及びウェブ掲載原稿の作成について（案）

## （趣旨）

SPOD加盟校において実施するFD/SDプログラムの中で、SPOD加盟校に開放可能なプログラムについては、予め内容及びスケジュールを示すことにより、加盟校の教職員が参加しやすいようにする。また、各加盟校で実施しているプログラムを参考にできるようにする。

## （対象プログラム）

全SPOD加盟校の1～5のプログラム

1. FD（主に教員対象）、2. FD/SD（教職員対象）
3. プレFD（大学院生・学部生対象）、4. SD（主に職員対象）、5. 総合

## （研修プログラムガイド全体構成）

これまで同様、全8ページの構成とし、各プログラムの詳細はウェブサイトに掲載する。

## （ウェブサイト掲載内容）

1. 開催県 2. 対象 3. プログラム名 4. 日程 5. 時間 6. 場所
7. 受講定員 8. 主な対象者 9. 対象校 10. 講師 11. 目標 12. 内容
13. 準備物 14. 参考資料 15. 受講者の声 16. 主催 17. 申込締切
18. 申込・問い合わせ先 19. 新規・継続の別 20. カテゴリ分類
21. 遠隔配信 22. FDレベルマップ 23. 参考となる写真等

## （原稿依頼）

SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）から、加盟校事務担当者へ依頼する。各コア校事務担当者は、各県内加盟校分をとりまとめ、SPOD事務局へ提出する。

## （発行時期等）

発行時期：令和7年3月下旬

発行部数：PDFデータのみ

編集責任校：愛媛大学（担当：教育・学生支援機構教育企画室、SPOD事務局）

※作成にあたっては、各コア校と連携・協力して行う。

【作成スケジュール案】

提出期限	提出物	提出先
各校で定める期限	・ S P O D開放プログラム原稿	研修講師→各加盟校
令和7年1月31日（金）	・ S P O D開放プログラム一覧	各加盟校→各コア校
令和6年2月10日（月）	・ S P O D開放プログラム一覧 ※各コア校でチェック済みの原稿	各コア校（県内加盟校分を取りまとめ） → S P D O事務局
令和6年2月中旬～下旬	【プログラムガイド】 業者初稿渡し 【ウェブサイト】 イベント情報入力作業開始	
令和6年3月下旬（予定）	【プログラムガイド】公開 【ウェブサイト】公開	

SPOD開放プログラム一覧

- ①本シートには大学名のみ記入してください。大学名以外は各シートに貼り付けた内容が反映されます。
  - ②研修講師から提出された「SPOD開放プログラム原稿(様式1-2)」のセルをコピーし、シート「001」～「015」に貼り付けてください。
  - ③プログラムについて備考がある場合は、シート「001」～「015」の備考欄にご記入をお願いします。
- シートが余っても構いません。シートが足りない場合は、本エクセルファイルを複製して2つに分けてご提出ください。

大学名

シート	日程	プログラム名	対象	遠隔	新規	マイクロ	ミドル	マクロ	備考 (あればご入力ください)
001			選択してください						
002			選択してください						
003			選択してください						
004			選択してください						
005			選択してください						
006			選択してください						
007			選択してください						
008			選択してください						
009			選択してください						
010			選択してください						
011			選択してください						
012			選択してください						
013			選択してください						
014			選択してください						
015			選択してください						

- (留意事項)
1. **令和7年1月31日(金)**までに所属する県のコア校に提出してください。コア校は各県内加盟校の原稿をとりまとめの上、**令和7年2月10日(月)**までに愛媛大学教育企画課(spod@stu.ehime-u.ac.jp)に提出してください。
  2. SPOD内講師派遣プログラムはプログラムガイドに別途掲載するため、本シートに記載する必要はありません。

※リーフレット版プログラムガイド及びウェブ掲載原稿作成に必要です以下1～23の網掛け部分に記載してください。

項目	記載内容等	備考																																																						
1 開催県	選択してください	【徳島、香川、愛媛、高知】から選択																																																						
2 対象	選択してください	【FD、FD/SD、SD、プレFD、総合】から選択																																																						
3 プログラム名																																																								
4 開始日程 ※例 2025/4/3		半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。																																																						
終了日程 ※複数日間開催の場合の時間 ※例 13:00～15:00		複数日間開催の場合のみ半角数字、西暦/月/日の形式で入力してください。																																																						
5 時間		半角数字																																																						
6 場所	〇〇大学〇〇キャンパス〇〇棟〇号館〇階△△教室	場所は具体的な教室名（建物名、階）まで入力してください。																																																						
7 受講定員		半角数字																																																						
8 開催方法		記入時の予定をお知らせください。 例：対面、遠隔（同期）、遠隔（非同期）、遠隔・対面の併用 など																																																						
9 主な対象者		<p>&lt;記入例&gt;教員、教職員、新任教員、主任級職員 等</p> <p>■主な対象者</p> <p>対象者は、ニーズとのミスマッチを防ぐために、教員、職員、大学院生などの職種やニーズを明確に表現してください。複数を対象としても構いません。</p> <p>例1) 授業でのグループディスカッションやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員</p> <p>例2) FDを担当する教職員</p> <p>例3) 新任教員(但し、授業担当経験5年以上を除く)、参加を希望する教員</p> <p>例4) 全教員、とりわけ講義を持つようになつて間もない教員</p> <p>例5) 職員(課長補佐以上)</p> <p>また、記載方法については、以下の点にご留意ください。</p> <p>・記載の統一 「事務職員、大学職員等」→「職員」 「新規に採用された教員、初任者教員等」→「新任教員」 ・対象校を表す言葉（〇〇大学、SPOD加盟校等）を使用しない。 「・・・であるSPOD加盟校の職員」→「・・・である職員」 「・・・以上の愛媛大学教職員」→「・・・以上の教職員」 ・役職を統一する（大学独自の役職名ではなく、一般的な役職名にする）。 「グループリーダー」、「副課長」、「チームリーダー」等は使用せず、「課長」「課長補佐」、「係長」、「主任」、「係員」とする。</p>																																																						
10 対象校		<p>&lt;記入例&gt;SPOD全加盟校、〇〇県内SPOD加盟校 等</p> <p>■対象校（地域別、設置形態別）</p> <p>できる限りSPOD全加盟校に開放してください。記載方法は、以下例示のように記載してください。</p> <p>例1) SPODの全加盟校に開放する場合・・・SPOD全加盟校</p> <p>例2) 愛媛県内加盟校のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内のみ）</p> <p>例3) 短期大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（短期大学のみ）</p> <p>例4) 愛媛県内の私立大学のみに開放する場合・・・SPOD加盟校（愛媛県内の私立大学のみ）</p>																																																						
11 講師		講師氏名(所属大学 所属部署名) <記入例>山〇夫(〇〇大学〇〇)																																																						
12 目標																																																								
13 内容		対象プログラムがどのようなことを行うか分かるように詳しく記載してください。例えば、章毎のタイトルなどを明示するとわかりやすくなります。																																																						
14 準備物		あれば入力してください。 <記入例>自身が担当する授業のシラバス																																																						
15 参考資料		あれば入力してください。 <記入例>著者名(発行年)『書籍名』（出版社）																																																						
16 受講者の声		アンケート等から、あれば入力してください。																																																						
17 主催		<記入例>愛媛大学 教育企画室																																																						
18 申込締切		<記入例>要問合せ、開催日〇週間前・先着順 等																																																						
19 申込・問合せ		<記入例>担当部署、連絡先メールアドレス																																																						
20 新規・継続の別	選択してください	新たに開催または新たに研修プログラムガイドに記載するプログラムに加えて、前年度から大幅に内容を変更したプログラムも「新規」としてください。																																																						
21 テーマ	選択してください	選択肢【授業の基本/参加型学習/ICT/多様な学生への支援/総合プログラム/プレFD/ポータル/マネジメント/職場における多様性と健康/授業改善/ビジネススキル/リーダーシップ/組織開発/その他】 テーマは、SPODウェブサイトのイベント絞り込み検索に使用します																																																						
22	FDレベルマップ（FD研修のみ要入力）																																																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">マイクロ</td> <td>個々の教員 授業・教授法</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">ミドル</td> <td>教務委員 カリキュラム・プログラム</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">マクロ</td> <td>管理者 組織の教育環境・教育制度</td> </tr> <tr> <td>フェーズ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>I 導入 (気づく・わかる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>II 基本 (実践できる)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>III 応用 (開発・報告)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>IV 支援 (教えられる)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	マイクロ		個々の教員 授業・教授法	フェーズ			I 導入 (気づく・わかる)			II 基本 (実践できる)			III 応用 (開発・報告)			IV 支援 (教えられる)			ミドル		教務委員 カリキュラム・プログラム	フェーズ			I 導入 (気づく・わかる)			II 基本 (実践できる)			III 応用 (開発・報告)			IV 支援 (教えられる)			マクロ		管理者 組織の教育環境・教育制度	フェーズ			I 導入 (気づく・わかる)			II 基本 (実践できる)			III 応用 (開発・報告)			IV 支援 (教えられる)			左表の太枠内、該当するフェーズに〇を入れてください。（選択式） レベルは「マイクロ・ミドル・マクロの3段階 × フェーズⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの4段階」で表されます。 ※本項目はFDレベルマップのため、SDプログラムは入力不要です。
マイクロ		個々の教員 授業・教授法																																																						
フェーズ																																																								
I 導入 (気づく・わかる)																																																								
II 基本 (実践できる)																																																								
III 応用 (開発・報告)																																																								
IV 支援 (教えられる)																																																								
ミドル		教務委員 カリキュラム・プログラム																																																						
フェーズ																																																								
I 導入 (気づく・わかる)																																																								
II 基本 (実践できる)																																																								
III 応用 (開発・報告)																																																								
IV 支援 (教えられる)																																																								
マクロ		管理者 組織の教育環境・教育制度																																																						
フェーズ																																																								
I 導入 (気づく・わかる)																																																								
II 基本 (実践できる)																																																								
III 応用 (開発・報告)																																																								
IV 支援 (教えられる)																																																								
23 参考写真等	選択してください	【あり、なし】から選択 参考となる写真、ポンチ絵(スライド)等があればお送りください。																																																						

# SPOD

## 研修プログラムガイド 2024

Shikoku  
Professional and  
Organizational  
Development Network in Higher Education



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

# プログラム一覧

# SPOD 2024

日程	プログラム名	開催校	対象	遠隔	新規	レベル・フェーズ			プログラム番号
						ミクロ	ミドル	マクロ	
4月11日(木)・18日(木)	合理的配慮の必要な学生に向けた授業づくり授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-001
4月18日(木)	チームビルディング	愛媛大学	FD		●	I・II			I-001
5月9日(木)・16日(木)	オンラインツールを活用した双方向型授業授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-002
5月15日(水)～17日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(新任職員)	高知大学	SD						Y-001
5月22日(水)～24日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD						I-002
6月1日(土)・2日(日)	授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD			II・III			I-003
6月13日(木)・20日(木)	収集された学生データの活用方法-教学IRに向けて-授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-003
6月20日(木)・21日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルII)	愛媛大学	SD						I-004
7月1日(月)～31日(水)	プロジェクトマネジメント	愛媛大学	FD/SD	遠隔(非同期)		I・II			I-005
7月2日(火)	大人数講義法の基本	愛媛大学	FD	遠隔(同期)		II			I-006
7月11日(木)・12日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	香川大学	SD						K-001
7月11日(木)・18日(木)	授業とAIの幸福な関係を考える授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-004
7月16日(火)	学習評価の基本	愛媛大学	FD			I・II			I-007
7月18日(木)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	FD			I・II			I-008
8月1日(木)	大学の危機管理-ハラスメント対応	愛媛大学	FD/SD		●	I	I	I	I-009
8月22日(木)・23日(金)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD			I・II			T-005
8月28日(水)～30日(金)	SPODフォーラム2024	香川大学	総合			I・II・III・IV	I・II・III・IV	I・II	K-002
9月4日(水)	対面授業でも活用できるオンラインツールを体験しよう	高知大学	FD/SD	遠隔(同期) 対面受講も可		I・II			Y-002
9月4日(水)～6日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学	FD			I・II・III			T-006
9月4日(水)	ティーチング・ポートフォリオチャート作成ワークショップ	徳島大学	FD		●	I・II			T-007
9月4日(水)	高等教育政策論	愛媛大学	FD/SD		●	I			I-010
9月4日(水)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-	高知大学	FD			I・II			Y-003
9月5日(木)	eラーニング活用(入門編) 学習支援システムMoodle/ソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう	愛媛大学	FD/SD			I・II			I-011
9月5日(木)・6日(金)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD			I・II			Y-004
9月10日(火)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	愛媛大学	FD			I・II・III	I・II	I・II	I-012
9月10日(火)	ARCS動機づけモデルを活用した学習意欲を高める授業設計	愛媛大学	FD			I・II	I	I	I-013

※1 対象について ■…FD「主に教員対象」 ■…SD「主に職員対象」 ■…FD/SD「教職員対象」 ■…総合

※2 レベル・フェーズについては、ナカ面の「主に教員の方へ」ページ下部の「SPOD-FDプログラムのレベルについて」をご覧ください。

日程	プログラム名	開催校	※1			※2			プログラム番号
			対象	遠隔	新規	レベル・フェーズ			
						マイクロ	ミドル	マクロ	
9月12日(木)・19日(木)	授業実践の成果を発表しよう 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-008
9月12日(木)・13日(金)	ティーチング・ポートフォリオ 作成・更新ワークショップ	愛媛大学	FD			I・II			I-014
9月12日(木)・13日(金)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			I・II・III・IV			I-015
9月17日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD			I・II			I-016
10月3日(木)・4日(金)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルIII)	愛媛大学	SD						I-017
10月10日(木)・17日(木)	学生の学習への動機づけを高める授業づくり 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-009
10月17日(木)・18日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	高知大学	SD						Y-005
10月31日(木)・11月1日(金)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルI)	愛媛大学	SD						I-018
11月14日(木)・21日(木)	複数の方法を組み合わせた多面的な学習評価の提案 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-010
11月21日(木)・22日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	徳島大学	SD						T-011
11月21日(木)・22日(金)	大学人・社会人としての 基礎力養成プログラム(レベルII)	徳島大学	SD						T-012
12月6日(金)～1月31日(金)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD	遠隔(非同期)		I・II・III	I・II	I・II	I-019
12月12日(木)・19日(木)	学生支援の動向と体制づくり・障害学生支援に焦点を当てて 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-013
12月25日(水)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD			I			K-003
12月25日(水)	学生参加型授業の技法	香川大学	FD			I			K-004
12月25日(水)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD			I			K-005
12月26日(木)	第20回大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	総合			I・II・III	I	I	T-014
12月26日(木)	シラバス・授業を改善しよう!	香川大学	FD			II			K-006
1月9日(木)・16日(木)	学生の学習を促す試験問題・レポート課題の作り方 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-015
1月23日(木)・24日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第5回)	愛媛大学	SD						I-020
2月3日(月)	グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD			I・II			Y-006
2月3日(月)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学	FD			I・II			Y-007
2月13日(木)・20日(木)	障害学生に対するキャリア支援 授業について考えるランチセミナー	徳島大学 香川大学 高知大学	FD	遠隔(同期)		I・II			T-016
2月14日(金)	留学生とのコミュニケーション	愛媛大学	FD			I・II			I-021

掲載内容は令和6年3月時点の予定です。プログラムの実施は状況に応じて変更・中止となる場合があります。  
 申込方法を含め、詳細はSPODホームページに掲載のイベント情報をご確認ください。  
 SPODホームページ ▶ <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



# 教員・職員の方へ

## SPODフォーラム

最新情報や過去の概要はこちら▶  
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/forum/>



SPODフォーラムは、大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様な質の高いFD/SDプログラム、ならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

### 【SPODフォーラムの特徴】

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

### 【SPODフォーラム2024】

日時 / 令和6年8月28日(水)～8月30日(金)

場所 / 香川大学幸町キャンパス

テーマ / 「Connection～これからの学びを考える～」

研修料 / 1. SPOD加盟校の教職員：無料  
2. SPOD加盟校以外の教職員：10,000円

申込み / 専用WEBフォームから申込み  
※申込期間等の情報はSPODホームページでお知らせします。



### 【参加者の声】

- 大学の運営に関わるさまざまな立場の方とつながることができ、自身の大学を見る視野を広げることができた。
- 3日間の間にここまで多様な領域のプログラムを揃えている研修は他に例を見ず、学びが大きい。
- 研修に刺激を受けて、業務や自己研鑽に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった。
- 講師の方々が質問に丁寧に対応してくれ、今後の授業に活かせる情報を得ることができた。

## 大学教育カンファレンスin徳島

最新情報や過去の概要はこちら▶  
<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/22457.html>



SPOD及び徳島大学では、これまでの教育活動の成果を検証し、教育実践研究を充実・発展させる機会となるよう、大学教育カンファレンスを毎年開催しています。

### 【第20回大学教育カンファレンスin徳島】

日時 / 令和6年12月26日(木)

場所 / 徳島大学常三島キャンパス  
※対面と遠隔の併用を予定

研修料 / 無料(どなたでも参加できます)

申込み / 専用WEBフォームから申込み  
※申込期間等の情報は徳島大学高等教育研究センターホームページでお知らせします。



### 【参加者の声】

- 新しい知見に触れることができ、日々の業務をより良くしていくヒントを得られた。
- 授業に取り入れたい工夫や方法が見つかり、発表者により具体的な話を伺いたいと思った。
- ポスター発表で、課題に対して多くの方と意見交換ができ、有益な情報を得ることができた。

## SPOD内講師派遣プログラム

加盟校へ希望調査を行い、SPOD内の研修講師を年1回無料で派遣します。令和6年度のプログラム一覧は、SPODホームページに掲載しています。なお、対象にSPODと記載しているものは、開催校以外の加盟校教職員も参加可能です。プログラムに関することはSPOD事務局へお問い合わせください。

# 主に教員の方へ

## 新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開しています。このプログラムは、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得られるよう、標準化されています。

- 徳島大学 授業設計ワークショップ
- 香川大学 よりよい授業のためのFDワークショップ
- 愛媛大学 授業デザインワークショップ
- 高知大学 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

### 【参加者の声】

- 目的や目標設定、授業の組み立て方など今後シラバスを作る際に気を付ける点を学ぶことができた。
- 発問を取り入れて、学生とコミュニケーションを取りながら授業を進めていきたいと思った。
- ワークや模擬授業、意見交換を通じて、自身の授業を振り返り、改善すべき点を把握できた。



授業デザインワークショップ

## FD担当者研修

FD担当者研修は、各大学におけるFDの企画や実施の担当者を対象とした研修です。各加盟校において、それぞれの大学に適したFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。今年度はSPODフォーラム2024で実施します。

### 【参加者の声】

- グループワークを通じて、他大学のFDの取り組みについて情報を得ることができた。
- これまで悩んでいたFDの課題を解決するためのきっかけを得ることができた。
- 所属大学のカリキュラムの問題点をよりしっかりと認識することができた。



## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し、教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」(教育業績記録)作成に関するワークショップを実施・公開しています。

- ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ
- アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ
- ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ(隔年開講)

### 【参加者の声】

- 教育理念について考える機会を持てたことで、自分が授業を行ったり、学生と接したりする上で、何を大切にしているか分かった。
- ぼんやりとしていた自身の教育理念を明確に捉えることができ、業務や大学教育に対する自身のモチベーションがどこにあるのか考えるきっかけになった。



## SPOD-FDプログラムのレベルについて

国立教育政策研究所が開発したFDマップ(FDプログラムを体系的に整理できる枠組(右図参照))を利用して、SPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「マイクロ・レベル(授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル(カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル(組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。縦軸はFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、4つのフェーズに分かれています。各プログラムのレベルとフェーズは、本紙のプログラム一覧に提示しています。

レベル	フェーズ	マイクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・ プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・ 教育制度
I. 導入 (気づく・わかる)				
II. 基本 (実践できる)				
III. 応用 (開発・報告できる)				
IV. 支援 (教えられる)				

図:FDマップのフレームワーク

参考・引用文献:国立教育政策研究所 FDer研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所,2009

# 主に職員の方へ

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国4県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- 新任職員
- レベルI(係員相当級の職員)
- レベルII(係長・主任相当級の職員)
- レベルIII(課長・課長補佐相当級の職員)

### 【参加者の声】

- 大学職員としての基礎を改めて理解することができ、自分に足りていない能力を確認できた。(新任職員)
- 同僚や後輩への話し方・伝え方について、新たな視点を得ることができた。(レベルI)
- 講義やグループワークを通じて、主任・係長の役割を知ることができ、充実した時間を過ごすことができた。(レベルII)
- ミドルマネージャーとしての立ち位置や振る舞いが周囲に与える影響について知ることができた。(レベルIII)



## 次世代リーダー養成ゼミナール

次世代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「知識」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する約60時間の総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、1年間で5回(1回あたり2日間程度)の日程で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されています。受講者は所属機関から推薦を受けた少数精鋭の職員です。

### 【参加者の声】

- 国・公・私立の垣根を越えて知り合いができるとともに、課題に対して周囲を巻き込みプロジェクトを実践する機会や客観的に評価される機会を得られた。
- プロジェクトを遂行するためのプロセスや改善点・アドバイスを、講師・OBOG、同期の方々から伺うことができ、実りある機会となった。今後も様々な業務改善を行っていきたい。



## SD担当者研修

SD担当者研修は、各大学におけるSDの企画や実施の担当者を対象とした研修です。SP ODでは、各大学等においてSDの自立的運営ができるSD担当者の養成を目指しています。今年度はSPODフォーラム2024で実施します。

### 【参加者の声】

- SD担当として、非常に役立つ知識、考え方が多く含まれており、業務に役立つ内容だった。
- SD業務に関わる内容だけでなく、コミュニケーションを取るうえで大事なことも学ぶことができた。
- 研修転移に繋がる制度設計の考え方や研修そのものの捉え方など、他の業務に向き合うときにも活用できる考え方を得られた。



## SPOD-SDCについて

### <SPOD-SDCの資格認定基準>

1. SPOD-SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

※認定者:40名(国/公/私)(R6.3.31 時点)

### SPOD-SDCとは?

SPOD-SDCとは、SDコーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールの修了者等で、資格認定基準を満たし、諸手続きを経て審査に合格した者には、SPOD-SDC資格が認定されます。SPOD-SDCの認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、新任職員研修やSPODフォーラムなどの研修講師としても活躍しています。

# 各プログラムの詳細内容は SPODホームページをご覧ください

**四国地区大学教職員能力開発ネットワーク**  
SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

TOP | SPODについて | 各種リンク | サイトマップ

SEARCH THIS SITE | 検索の方法

研修プログラムガイドを見る  
講師派遣プログラム  
イベント情報 ※イベント詳細はこちら

SPODについて  
設置目的  
規約

学生の豊かな学びと成長を支援する  
実践的力量をもった  
高等教育のプロフェッショナルの輩出

SPOD内講師派遣プログラム  
(香川大学)

イベント情報はここから

開催県・開催方法・テーマ・フリーワード等で希望に合うプログラムを検索

検索する

URLはこちら▶  
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



年間一覧 | 月別カレンダーで  
全プログラムをチェック

年間一覧 | 月別カレンダー

イベント情報 EVENT INFORMATION

2023年度

04月 05月 06月 07月 08月 09月 10月 11月 12月 01月 02月 03月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			•【開催/SD】 大学入・社会 人としての基 礎的実践力 プログラム (レベル A1)	•【開催/SD】 大学入・社会 人としての基 礎的実践力 プログラム (レベル A1)		
5	6	7	8	9	10	11
				•【他県・高 知/FD】学生 の学びを促す 実践的実践二七 ポータル実践の 力を伸ばす 実践的実践 実践的実践 実践的実践		
12	13	14	15	16	17	18
				•【他県・高 知/SD】学生 の学びを促す 実践的実践二七 ポータル実践の 力を伸ばす 実践的実践 実践的実践		
19	20	21	22	23	24	25
				•【開催/SD】 実践的実践二七 ポータル実践の 力を伸ばす 実践的実践 実践的実践		
26	27	28				
				•【開催/SD】 実践的実践二七 ポータル実践の 力を伸ばす 実践的実践 実践的実践		

タイトルをクリックして  
プログラム詳細ページへ

## 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)とは

2008年度に設立し、四国地区の国公立大学・短期大学(四国地区に一部の学部等を置く大学を含む)及び高等専門学校によって構成され、加盟校の共同事業として運営しています。本ネットワークでは、質の高い教育を提供するため、4県に位置する「ネットワークコア校」を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)に努めています。資源を共有することで、加盟校は、単独の組織では成し得なかったプログラムやサービスを楽しむことができます。ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった「高等教育のプロフェッショナル」を四国から輩出することを目指しています。メインイベントの一つであるSPODフォーラムは2009年から実施しており、近年では四国の外からも多くの方にご参加いただいています。

SPOD案内チラシはこちら▶ [https://www.spod.ehime-u.ac.jp/pdf/spod\\_chirashi.pdf](https://www.spod.ehime-u.ac.jp/pdf/spod_chirashi.pdf)



SPODではメールマガジンを配信しています。登録はホームページの登録フォームで随時受け付けています。

## ■ 各種研修プログラムのお申し込みについて

SPODホームページに各プログラムの詳細を掲載しています。

お申込方法や開催に関する情報はSPODホームページでご確認ください。

SPODフォーラムは受付期間中に掲載される専用の申込フォームからお申し込みください。

※各プログラムには受講定員があります。そのため、申込受付は先着順とさせていただきます。  
※プログラムの開催は状況によって変更・中止となる場合があります。

URLはこちら▶  
<https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>



## ■ お問い合わせ先

### FDプログラム

### SDプログラム

#### 徳島大学

〒770-8502  
徳島県徳島市南常三島町1-1  
<https://www.tokushima-u.ac.jp/>

#### 学務部教育支援課教育企画室

TEL:088-656-7679 FAX:088-656-7292  
E-mail:kykikakuc@tokushima-u.ac.jp

#### 総務部人事課SD担当

TEL:088-633-7017 FAX:088-633-7474  
E-mail:jinjihosak@tokushima-u.ac.jp

#### 香川大学

〒760-8521  
香川県高松市幸町1-1  
<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

#### 教育・学生支援部修学支援課

TEL:087-832-1153 FAX:087-832-1155  
E-mail:syugaku-h@kagawa-u.ac.jp

#### 企画総務部給与福利課

TEL:087-832-1044 FAX:087-832-1054  
E-mail:kyuyo-kensyu-h@kagawa-u.ac.jp

#### 愛媛大学

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
<https://www.ehime-u.ac.jp/>

#### 教育学生支援部教育企画課FD担当

TEL:089-927-9154  
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

#### 教育学生支援部教育企画課SD担当

TEL:089-927-9154  
E-mail:spod@stu.ehime-u.ac.jp

#### 高知大学

〒780-8520  
高知県高知市曙町二丁目5-1  
<https://www.kochi-u.ac.jp/>

#### 学務部学務課

TEL:088-844-8144 / 088-844-8467  
FAX:088-844-8367  
E-mail:y-spod@kochi-u.ac.jp

#### 総務部人事課SD担当

TEL:088-844-8584 FAX:088-844-8119  
E-mail:kj08@kochi-u.ac.jp

## ■ 研修料について (SPOD加盟校外の方へ)

SPODは、加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため、原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様は研修プログラムを受講する場合には、研修料を徴収させていただきます。研修料については下の表をご参照ください。ただし、下の表に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は、委託費の総額を受講定員で除した金額とします。

**SPOD加盟校の  
教職員は無料!**

区分	2時間以下の プログラム	4時間以下の プログラム	1日で終了する プログラム	1泊2日の プログラム	2泊3日以上 のプログラム	SPODフォーラム (受講時間、日数にかかわらず)
研修料	2,000円	4,000円	6,000円	12,000円	18,000円	10,000円

## イベント等参加者数

## 1.SPODオンラインセミナーシリーズ 参加者数（開催日:2024.11.14/11.29/12.6/12.12/12.20）

プログラム	人数	大学	短大	高専	その他	国立	公立	私立	その他	加盟校	加盟校外	教員	職員	その他
みんなでDX～ハンズオン入門編～	79	73	2	2	2	28	16	34	1	32	47	10	67	2
みんなでDX～ハンズオン実践編～	64	59	2	1	2	21	15	27	1	22	42	7	56	1
ハラスメント防止のためのアサーション	17	16	0	1	0	8	2	7	0	9	8	11	6	0
大学教職員のためのIR入門	66	63	1	1	1	19	11	35	1	14	52	13	52	1
「SPODオンラインFDコンテンツプラットフォームサイト(β版)」の活用方法	13	13	0	0	0	6	0	7	0	5	8	0	7	6
面談ステップを活用した学習支援	22	19	1	1	1	4	2	15	1	8	14	9	12	1
心理的安全性の高いクラス運営と教員育成	24	21	1	2	0	9	1	14	0	9	15	15	8	1
教職協働vs.教職分担－大学組織の再考－	76	71	3	1	1	23	42	10	1	26	50	13	60	3
Z世代と管理職－価値観の違いがパワーになる	55	55	0	0	0	18	9	28	0	23	32	9	44	2
生成AIと歩むこれからの大学	84	80	2	1	1	29	19	36	0	36	48	20	63	1
合計	500	470	12	10	8	165	117	213	5	184	316	107	375	18

## 2.上野先生基調講演 視聴回数（公開期間:2024.11.8～12.13）

タイトル	視聴回数
大学業界は問題だらけ ～地方大学のサバイバルのために～	561

## 3.第20回大学教育カンファレンスin徳島 参加者数（開催日:2024.12.26）

口頭で概算報告